

小山田大龍地区まちづくりを考える会（幹事会）まちビジョン準備会
第10回 報告書

2023.11.22（水）18：00～19：40

場所；大龍会館

参加者 市民11名、市職員3名、アドバイザー1名、傍聴者1名の計16名

1. 前回の報告（アドバイザー）

事務局から以前130世帯位だった大龍地区の世帯数が増えてきておりアパートを除くと148世帯になったと報告があった。

また、報告の中でいくつかの修正点があった

- ・まちだ結の里のイベント春の田植えと秋の稲刈りは市民大学講座としても開催している。
- ・同様に参加者は市内の方が多く、散策者の多くは市外の方である。
- ・谷戸の環境整備で「森林環境条例」とされているのは「森林環境譲与税」に訂正する。町田市には毎年5000万円ほど譲与されており、その用途は森林整備、人材育成、木材利用・普及啓発などとされている。以上

2. まちビジョン方針、目標について、参加者の意見

① 地域資源の活用について

- ・休耕畑の活用については事故なども考えて保険への加入も検討する
- ・奈良ばい谷戸の評価について、不便な環境だという人もいるし、逆に何も無い所が良いという人もいる→何が魅力なのかも検討する
まちだ結の里で春にまち歩きを企画したが参加者がいなかった→奈良ばい谷戸には750種を超える植物が確認されている。この狭い範囲にこれほど多くの植物があるのもこの地の魅力の一つ
- ・2か所の谷戸について散策路の樹木の枝打ちは市から指導されているが伐採には費用が掛かる→前述の森林環境譲与税の活用を検討
- ・白山神社の境内にはめずらしい木があり、それを紹介すれば人が集まるのではないか。

② イベントの開催について

- ・イベントの告知については町内会の回覧では6割程度しか伝わらない
白山神社の祭礼には各戸に案内を入れたことで多くの参加者があったことから告知の大切さは確認できた
- ・地域のまち歩きイベントで町内の交流を図るのも良い

- ・来年のどんどん焼き（1/14 予定）は日曜日なので夜よりも日中にやるのも良いのでは（慣習として今まで夜に行っていたので検討を要する）
- ・電線などの障害物の関係でお札を焼く場所もなかなか難しい
- ・どんどん焼きと餅つきを合わせてイベントにする事も良い
- ・まちづくりの導入イベントとして、どんどん焼きがふさわしい
- ・神社の初詣もイベントにならないか？告知方法を検討する必要あり
- ・大龍会館について、イベントなどの活用を考えるとシャッターを電動にすることも必要で、中で行われている事を見せるのも大切（町内会費や仕組みについての議論がありました）

3. 市の報告

A3 判地図の作成（エリア内の資源）、小山田大龍地区街づくりニュース第2号について（全戸配布の検討）、東京都都市づくり公社の「まちづくり支援事業」（街づくり活動支援の活用）の案内が行われた

4. 次回の準備会ではまちビジョンの目標などのたたき台の検討に入り、来年の3月以降のビジョン策定に向けスケジュール等を調整する事とした

次回は

1 2月20日（水）18：00～

大龍会館